

丹波中学校だより 清流の辺

せい りゅう ほとり

平成28年5月23日(月)

No. 23

文責 丹波中学校長 梶原勝由

1泊2日の宿泊学習 ～富士山世界遺産にふれて～

1・2年生は、5月19日(木)から20日(金)の1泊2日、富士五湖方面で学習を深めてきました。1日目。まずは富士山5合目の小御嶽神社参拝後、ネイチャーガイドさんから説明を受けながら散策。その後、吉田のうどん屋で昼食。富士山レーダードーム館で富士山レーダーができるまでを学習。大石紬伝統工芸館でハンカチ染め体験づくり。夜はたのしいレクリエーションを行い、親睦を深めました。



2日目は、浅間神社、西湖クニマス資料館見学後、西湖野鳥の森公園で昼食、青木ヶ原樹海(風穴・氷穴を含む)散策。富士山世界遺産や富士五湖周辺の工芸文化・自然・歴史などに触れ、実りある学習となりました。



地域の方から学ぶ道徳

5月12日(木)、地域の方から学ぶ道徳を開催しました。講師は、丹波山クラブ代表理事の青柳雄大さんで、平成9年度の生徒会長を務めた方でした。

青柳雄大さんから、丹波小中学校の頃や高校生・大学生の頃、会社を立ち上げた頃、会社を創業してからの様子など、正直かつ生徒に合わせたわかりやすい講話でした。その話の中で経営者としての明確なビジョンと芯の強さを感じました。ありがとうございました。また、陸上のアドバイザーとして、自己新がでるよう、ご指導お願い致します。



種まき交流会～老人クラブの方とともに

5月13日(金)、快晴の中、老人クラブの方25名と種まき交流会を行いました。

今年度は、4グループに分かれ、リーゴルド、百日草、ミニひまわり、金蓮花を植えました。水やり等を毎日行い、大切に育てたいと思います。

種まき後は、総合的な学習の時間に調べ、まとめる各自のテーマに沿って、老人クラブの方から丹波山村のことを教えていただきました。25名の方、ありがとうございました。



私の好きな一冊「アルジャーノンに花束を」ダニエル・キイス著

書き出しはこうです。「ストラウスはかせわぼくが考えたことや思いだしたことやこれからぼくのまわりでおきたことわぜんぶかいておきなさいといった。なぜだかわからないけれどもそれわ大せつなことでそれでぼくが使えるかどうかわかるのだそうです。ぼくを使ってくれればいいとおもうなぜかというキニアン先生があのだちわぼくのあたまをよくしてくれるかもしれないといたからです。ぼくわかしこになりたい。」

知的な障害を持つくぼくは、手術によって明晰な頭脳を持ったく私に生まれ変わります。無垢で悪意のないくぼくは次第に知識だけがふくれあがり情緒がついて行かないく私へと変わっていってしまいます。

私がこの本を読んだのは高校生の時の一度だけです。しかしその中に書かれているセンセーショナルな内容に驚き、泣き、読後に「こんな苦しい気持ちで本を読んだのは始めてだ」と感じました。ただただ打ちのめされるお話です。勇気があったら是非読んで下さい。

(文責:堀内翔子先生:現忍野中学校勤務)